地理描圖法

石橋好一原譯
大井潤一增補

全

450
204

記号 煙 紀
御 5
一部ノ変更

公第参號

20694
教科書文庫
2
290
31-1876
25001
083.69
M9
1876

明治九年十二月

地理描圖法

文部省

450類
219号
108348
第

部冊數
号
理

地理描圖法例言

此書原本ハ亞國ノ亞伯齊爾氏ノ著ニレテ其費拉地費府ノ刊行ニ係リ石橋氏好一文部省ノ命ヲ奉レテ譯セレ所ナリ石橋氏自緒言ヲ著レテ原本ハ亞米利加部中ニ於キテ合衆國描圖ノ法ヲ載スル者特ニ詳ナリ今コレヲ譯スト雖我カ邦人ニ裨益アルニ非サレハ記スル所ハ唯其大洲ノ圖法ニ止マリ又北亞米利加ヨリ他ノ三洲ニ及ホスノ順次ヲ改メテ亞細亞ヲ首トレ叙レテ以テ亞米利加歐羅巴亞

弗利加ニ至ルト云ヘリ蓋主客同レカラサレハナリ

一 此書元教師ヲレテ童子ヲ教誘スルノ法ニ諳熟セレメンコトヲ要トスル所ナリ故ニ北亞米利加大洲ノ條ニ於キテ其誘導教誨ノ法ヲ講スルコト最懇切ヲ極ム今既ニ亞細亞ヲ以テ主トス其法モ亦詳略ヲ異ニセスハアルヘカラス是ヲ以テ亞國條下ノ詳ナル者ヲ刪除レ其意ニ倣ヒテ新ニ增補ヲ亞細亞ノ條下ノ略ナル者ニ加ヘ務メテ原書ノ體ニ摸倣センコトヲ要ス庶幾ハクハ少レク其誘導教誨ニ裨益アランコトヲ

一 原書ノ例各大洲沿海ノ島嶼ニ至リテハ甚密接セル者ト雖毫モ論及セル所無レ顧フニ本邦ノ如キハ東海ノ表ニ屹立セルヲ以テ其圖モ亦亞細亞描畫ノ線外ニ隔在ス故ニ距離布置共ニ大洲ト關涉スル所アルコト無レハ幼童ノ徒演習ノ際心思ヲ過勞スルコトヲ免レサルニ近カラントス是ヲ以テ今基罫線外更ニ一弧線ヲ施レ略コレカ說ヲ附レ其係ル處

ヲ明ニシ兼テ本邦近地ハ較詳細ヲ加フ主
客ノ別自然ラサルコトヲ得サレハナリ因リ
テ又北亞米利加條下合衆部ノ描圖法ヲ省キ
代フルニ日本描圖篇ヲ以テシコレヲ亞細亞
條下ニ載ス此篇ハ宮本三平ノ新ニ撰ヒタル
者ニ據リテ繁ヲ刪リ簡ヲ補ヒ幼童ノ習熟ニ
易カラシメンコトヲ要スルノミ但本邦ノ地
クル四陲皆海ニ瀕スルヲ以テ到ル處港灣隅
角ヲ成シ海岸線ノ迂回灣環最多クシテ四大
島聯屬附離ノ勢モ亦特ニ甚シク其法固既ニ

容易ナラス況シヤ此篇創製ニ係ルヲヤ故ニ
且其概略ヲ舉ケテ以テ苟完クスルノミ
一篇中總テ經度ハ英國緑林ヨリ起算スルモノ
ニ從ヒ尺度モ亦同國ノ法ヲ用フ故ニ一寸ハ
我曲尺八分三厘餘ニ均シク一尺ハ我一尺。
。四厘餘一里ハ我十四町四十三間四尺七五
九餘ニ同シク一碼ハ三尺ニ均シ
一全書盡石橋氏ノ譯スル所ニ係ルト雖亞細亞
亞米利加ノ部ハ刪除增補ヲ經タルヲ以テ其
面目舊ト異ナル者多シ南亞米利加以下歐羅

巴亞弗利加ニ至リテハ毫モ損益スル所無シ故ニ其以テスル所ヲ叙シテコレヲ讀ム者ニ告クルコト此クノ如シ

明治九年八月　　大井潤一　識

地理描圖法

石橋好一　原譯
大井潤一　增補

教師ノ心得

夫レ地理學ハ首トシテ地球表面ノ形勢及其位置ヲ學ハン爲ノモノナリ但シ之ヲ學フニ圖ヲ用フルトキハ講說ニヨリテノミ學ヘルヨリハ却ツテ善ク地上ノ形勢位置等ヲ曉ル得ヘシ故ニ地圖ハ地理學ヲ學フニ欠クヘカラサル具ナリ

扨又生徒等ハ本文ノ課業ヲ暗記シ、温習ノトキニ方リテ其著者ノ記セシ儘ニ之ヲ教師ニ對シテ暗誦ス、地圖ヲ學フモ亦之ト同シ法方ニテ地圖ヲ暗記シ温習ノトキニ臨ミ此書ニ畫ケル如ク亦之ヲ畫クベキナリ

又物ノ形狀ヲ最モ容易ク記臆センニハ先ツ其形ヲ畫キ得シコトヲ手ニ教フルヲ善トス但シ斯ク手ニ教ヘ畫カレメント心ヲ勞スルヲ以テ心モ亦能ク其形狀ヲ記臆スヘシ抑圖學ハ素形狀ノ學ナレハ之ヲ學フノ法方ハ圖ノ畫キ其形

狀ヲ學フヲ良法トス

描圖法ヲ學ハシメンニハ生徒ノ正シク圖ヲ畫ク事及其畫キシ圖ノ正シキヤ否ヲ判論スル法方ノ設ナクンハアラス但シ斯ク生徒ヲ助成センガ爲ニハ基罫（圖ヲ製作スルノ基形ナリ）ヲ用フルヲ最良ノ法トセリ而シテ此基罫ハ其形ヲ畫カント欲スル圖ノ境界線ト符合スルヤウ心シテ製作スヘシ○此ノ如ク基罫ヲ製作セハ之ヲ組立タル線ノ長短ニヨリテ今畫カントスル圖ノ概形ヲ知ルヲ得尚且此基罫ノ角度及區分ノ標點ニヨリ

テ突出セル地勢ノ位置ヲモ定ムルヲ得ベキナリ

而シテ地圖ハ又如何樣ニ彎曲參差ストモ基罫ハ常ニ簡易ニシテ之ヲ製ルニ容易ク且生徒ノ記臆シ易カランヤウ作ルベシ

大洲ヲ畫クニ用ヒントスル基罫ヲ製作センニハ常ニ其首線ヲ以テ他ノ諸線ヲ度ル準規トスベシ

描畫ノ演習ヲ行フニハ其始生徒教師ノ示指ニ從テ圖ヲ塗板上ニ畫キ後之ヲ石盤上ニ圖レテ教師ニ示レ其指教ヲ受ケ次ニ又紙上ニ畫キテ教師并ニ生徒ノ品評ニ供ヘシカ為ニス描畫ノ演習ハ則チ右ノ如クナサレムヘシ○又教師歟若シクハ生徒ノ中ニテ殊ニ熟練セルモノ塗板上ニ端正ナル一個ノ外邊圖ヲ畫キ生徒ヲシテ此圖(斯ル外邊圖ヲ用フルハ印刷シタルモノヲ用フルヨリモ更ニ宜シトス)ニ倣ヒ其課業ヲ溫習セシメ又生徒ノ日々ニ學ヒタル地勢等ヲ新ニ此圖上ニ畫キ加ヘシムルモ亦可ナリトス

偖又描圖ノ各課業共ニ連續イラ多少速畫ノ法

ヲ行ハシムベシ但シ此速畫法ヲ行ハレムルトキ生徒ノ互ニ相競ハンヤウ勵サン爲教師生徒等ヲシテ其課業ヲ塗板上ニ畫カシメ其畫ク時間ヲ計ルヘシ○此ノ如ク速畫法ヲ行ハレムルトキハ生徒等忽チ其法ニ練磨シテ基罫ハ半分時ニテ之ヲ畫キ大洲ハ三分時ヨリ五分時ノ間ニテ之ヲ畫クヲ得ヘシ且又此速畫法ヲ行ハシメシ後ハ生徒ヲシテ常ニ續イテ一齊溫習ヲ行ハシムヘシ

堊筆講解ト名クル演習ノ法ハ最良ノ者トス但

シ此法ヲ行ハンニハ生徒ヲシテ地圖ヲ畫クノ間其地勢ヲ描キナガラ簡易且活潑ニ講說スベシ斯ノ如ク堊筆ヲ以テ圖ヲ描キツヽ絶エズ之ヲ講說スルヲ堊筆講解トイフ

描圖ノ演習ヲ行フニハヨク注意シ生徒ノ摸範圖ヲ用ヒズシテ其圖ヲ正シク且疾ク畫カシヤウ教導スヘシ

偖又生徒等圖ヲ精密ニ畫クヲ得尚其圖上ノ形勢等ヲモ詳カニ講說スルヲ得バ顔料ト墨トヲ用ヒテ一個ノ圖ヲ畫カシメ且之ニ着色セシメ

テ其圖ヲ藏メ貯フベシ然レドモ最美ノ着色圖ヲ製ラレメン爲トテモ許多ノ時ヲ費サレムルナカレ○石筆、石盤、鉛筆、紙墨筆及塗板諸品ハ描圖ニ用フヘキ必要ノ具ナリ尚又圖ハ總テ疾ク且多ク畫カン事ヲ旨トスヘシ

又生徒ハ都府ノ民口并ニ高地ノ高ヲ表サン爲ニ用フル記號ヲヨク會得セサルヘカラス蓋シ此記號ハ生徒ヲシテ民口并ニ高地ヲ記臆セシムル爲大ニ益アルモノナレハ記號ヲ教フルノ課業ヲ設ケ以テソノ記號ノ意味ヲ教フヘシ尚

此記號ハ描圖ヲ學フ爲常ニ必用ノモノタリ

大陸ヲ畫カシメンニハ第一ニ精シク其基罫ヲ製ルヲ教ヘ次ニ海岸線ヲ畫カシメテ其海岸線ヨリ成レル半島、岬、及ヒ灣港等ノ如キ形勢ヲ解明セシメ而シテ後又山、川、湖及都府等ノ如キ内地ノ形勢ヲ畫カシメ且之ヲ講說セシムヘシ但内地ノ形勢ヲ畫カシメンニハ預シメ生徒等ニ大陸外部ノ形勢ヲ容易ク且精密ニ畫クコトヲ理會セシメスンハアラス、若シ外部ノ形勢ノ畫方不充分ナレハ隨テ内地ノ形勢モ不充分ナル

ヲ免カレサルナリ

又圖ノ形勢ヲ講説センニハ次ニ掲クル所ノ次序及ヒ指教ニ從フヲ良トス

(基罫) 精密ニ基罫ノ製作方ヲ説クヘシ

(符合點) 基罫上ノ角度及區分ノ標點ヨリ次第ニ圖上ノ形狀ト其占ムベキ位置トヲ説クベシ

(半島) 半島ハ大洲ノ何レノ地ヨリ凸出シ何レノ洋海ニテ環繞セル等ヲ説クベシ

(岬) 大洲ノ何レノ所ヨリ何レノ海中ニ突出スルヲ説クヘシ

(灣) 其位置ヲ示シ且此灣ハ何レノ海洋ニ屬スルヲ説クベシ

(島) 何レノ所ニアリテ且何レノ洋海ノ之ヲ圍繞スルヲ説クベシ

(山) 其島ヲ示シ次ニ其方向ヲ示シ而シテ後大洲ノ何レノ所ニ占位スルヲ説クベシ

(湖) 其位置ト其出路ヲ成セル河トヲ説クベシ

(河) 何レノ所ニ發シ何レノ方向ニ流レテ終

ニ何レノ海中ニ入ルヲ說クベシ

〔政事上ノ區分〕 國ノ境界ヲ說キ次ニ其首府ヲ名稱シ且其限界ヲモ說クベシ

〔都府〕 位置ト人口トヲ說クベシ

都邑ノ人口ヲ示ス記號ノ解

第一ノ記號

此第一種中ニ於テ用フル記號ハ唯此●ノ如キ圓點ノ一個ニシテ此記號ハ一萬以下ノ人口ヲ示スニ用フ

第二種ノ記號

第二種ノ記號ハ其線數ヲ以テ一萬毎ノ人口ヲ示ス則次ニ記セルモノヽ如シ

○ 人口一萬　＋ 人口二萬

人口三萬　# 人口四萬

人口五萬　## 人口六萬

人口七萬　### 人口八萬

人口九萬

第三種ノ記號

第三種ノ記號ハ其中央ニ點アリ其點上ノ線數ヲ以テ十萬毎ノ人口ヲ示ス則次ノ如シ

人口十萬　人口二十萬
人口三十萬　人口四十萬
人口五十萬　人口六十萬
人口七十萬　人口八十萬
人口九十萬

第四種ノ記號

第四種ノ記號ハ其中央ニ圓點アリ環線アリ、之ニ加フルニ線數ヲ以テシ毎百萬ノ人口ヲ示ス則チ次ニ掲ルモノヽ如シ

人口百萬　人口二百萬

人口三百萬　人口四百萬

山ノ高ヲ示ス記號ノ解

山脈

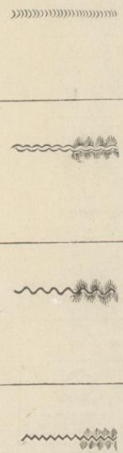
山脈及小山脈ハ猶都府ニ於ルガ如ク其記號ヲ四種ニ分チ第一種ハ並行曲線ヲ以テシ第二種ハ花合曲線ヲ以テシ第三種ハ波線ヲ以テシ第四種ハ折線ヲ以テ之ヲ示ス則チ次ニ記スルカ如シ

第一種即小脈 但高二千尺以下ノ者

第二種高二千尺 即八千尺即半里ヨリ一里半ノ間ナルモノ

第三種高八千尺 即一万六千尺即一里半ヨリ三里ノ間ナルモノ

第四種高一万六千尺以上即三里以上ノモノ



峯

高一里以下ノ峯ハ右方ノ曲線數ヲ以テ一里四分一ノ高ヲ示シ一里以上ノモノハ右方ノ線數ヲ以テ毎一里ヲ示シ尚又其下ノ横線ヲ以テ半里ヲ示ス

高一里ノ四分一

同一里ノ四分二

同一里ノ四分三

同一里

同一里半

高二里

同二里半

同三里

同三里半

同四里

同四里半

同五里

亞細亞

基畧ヲ畫ク法

第一　畫カント欲スル圖ノ南北ノ長二分ノ一

ヨリハ稍長キ「以」「呂」ノ直線ヲ畫キ之ヲ首線號ス均ク三部ニ分チ其上ノ一部ヲ更ニ二部ニ平分スヘシ

第二　長「以」「呂」線ノ全長ト其六分一ナル「呂」「波」ノ水平線ヲ畫キテ之ヲ二部ニ分チ「以」及「波」ノ兩點ヲ連續ス次ニ「以」「波」線ヲ三部ニ平分シテ其中央ノ部ヲ更ニ二部ニ平分シ又其上ノ部ヲ均ク三分ニ分ツベシ

第三　斯クテ「以」及「波」ノ兩點ヲ中心トシテ首線ノ全長ト其三分ノ二ノ長ナル半徑ヲ有テル二

個ノ弧線ヲ相交又スルヤウニ畫キ交又セル點ヲ「仁」トス而ノ「以」「仁」及「仁」「波」ノ諸點ヲ連結スヘシ」

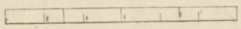
第四　以「仁」線ヲ均シク三部ニ分チ其中央ノ部ヲ更ニ二部ニ平分シ又「仁」「波」線ヲ均シク八部ニ分ツヘシ

第五　「十」點ヨリ「九」點ヘ一線ヲ畫キ「七」點ヨリ「二」點ヘ又一線ヲ畫キ之ヲ各二部ニ平分シ又「六」點ヨリ「四」點ヘ一線ヲ畫キ三部ニ平分スヘシ

第六　次ニ「以」ヨリ「二」「七」ノ線ノ中央迄一線ヲ畫キテ二分シ「廿三」點ヨリ「五」點ノ方ヘ一線ヲ引キ

テ「二」「七」ノ線ニ觸ルヽニ至ラシムヘシ○斯クノ如ク基罫ヲ精細ニ畫クトキハ「以」「仁」及「仁」「波」兩線ハ其長サ皆均シク「以」「呂」線ハ直垂ナルヲ見ルベシ

第一圖



第二圖

第三圖

第一圖ハ塗板上ニ圖ヲ畫クトキ生徒ノ便利ニ供フル界木ヲ示ス但シ此界木ハ長サ二十糎ニシテ之ヲ二分一、三分一、四分一、及六分一、ニ分ツベシ○又石盤及紙上ニ圖ヲ畫クトキ用フルモノモ此界木ト同一ニシテ唯其長サ六糎ノ差異アルノミ

第二圖ハ象限ヲ畫クニ便利ナル法方ヲ示ス

第三圖ハ一條ノ線ヲ三分スルニ便利ナル法方ヲ示ス

備考　基罫ヲ製作シ及諸線ヲ區分センニ初ハ第一圖ニ示セル如キ界木ヲ生徒等ニ用ヒシメンヲ要ス是レ精密ニ基罫ヲ製作シ且諸線ノ區分ヲナサシメンカ爲ナリ然レ𪜈生徒等ノ漸ク之ニ練熟セシトキハ界木ヲ用ヒシメス唯眼ヲ界木トナシテ之ヲ畫カシムベシ

象限ヲ畫カンニハ拇指ト食指トノ間ニ筆ノ一片ヲ挿ミ第二圖ニ示セル如ク季指ノ尖ヲ中心トナシテ弧線ヲ畫クヘシ而シテ此中心ノ方ヘ垂線ト地平線トヲ畫クトキハ一個ノ

象限ヲ畫クヘキナリ又象限ヲ製スルニ手ヲ用ヒスシテ亞筆ノ一片ヲ短キ糸ノ一端ニ附ケタルモノヲ用フルモアリ尚ホ一葉ノ紙ヲ四半圓形ニ切リテ其上ニ四分一及六分一ノ區分ノ標點ヲ識レタルモノヲ生徒ニ用ヒレメテ象限ヲ製スルモアリ

一線ヲ均レク三部ニ區分センニハ片手ハ指ヲ用ヒ他ノ手ニハ亞筆ヲモチテ第三圖ニ示セル如ク此指ト亞筆トヲ三部ノ平分ナルカ如ク線上ニ着クベシ

一線ヲ四部或ハ六部ニ區分センニハ先ヲ其線ヲ均レク二部ニ分ケ次ニ此二部ヲ共ニ均レク二部或ハ三部ニ分ツヘシ

基罫ノ各種ノ線ハ文字ノ次序ニ從カヒ之ヲ畫キ區分ノ標點モ亦數目ノ次序ニ從カフテ之ヲ記スヘキナリ

紙及石盤上ニ基畫ヲ畫カンニハ其線ヲ薄ク畫キ又塗板ニハ石盤筆ヲ以テ之ヲ畫クヘシ而ノ塗板上ニハ必界木、三角規、量針、及拭布ノ諸品ヲ各一個ヲ、備フヘキナリ

位置　亞細亞ハ赤道ノ北ニアル大陸東部ノ大洲ナリ三面ハ海ニ濱レ西ハ烏拉爾山烏拉爾河裏海高架索山及黑海ヲ以テ歐羅巴ニ接レ蘇士ノ地峽ヲ以テ亞弗利加ニ連ル

長　北ハ勃斯波路斯海峽ヨリ南羅馬尼岬ニ至リ此大洲ノ長サ無慮五千三百里トス

符合點　東岬ハ東ノ角點ヲ以テ定ルヲ得ヘク羅馬尼岬ハ「波」ノ角點哥摩令岬ハ「甘」三點巴白漫德峽ハ「二」點而ノ勃斯波路斯海峽ハ「以」ノ角點ヲ以テ都テ其位置ヲ定ムルヲ得ベシ

槃形　亞細亞ハ東西最廣ク其形稍方ニシテ地角ノ東方ニ突出スルモノ三、南方ニ二、西方ニ一アリ故ニ太平洋印度洋ニ面スル海岸線ハ甚彎環シ北氷洋ノ海岸ハ大略易直ナリ

圖ヲ描ク法　太平洋海岸　東岬ヨリ始メテ「仁」「波」線ノ「十六」點ニ於キテ堪察加半島頸ノ西濱ヲ畫ク半島ノ長サハ略「仁」ヨリ「十六」點ニ至ル距離ニ同シ○阿哥斯科海ハ「十六」點ト「十四」點トノ間ニアツテ線内ニ彎入ス而メ撒該連島ノ北首ハ「十四」點ニ近シ線内ニテ同點ニ近ク黑龍江又混同江ト云

ノロヲ畫クヘシ撒該連島ト大陸ノ間ニ韃靼峽ヲ畫ク朝鮮半島ハ「十八」點ト「十三」點トノ間ニ於テ東南ニ斗出シ半島ノ長サハ此線一部ノ半ナリ

○北直隸灣ハ「仁」波」線ノ中央ニアリ此灣ノ上下ニ岸勢二ノ曲線ヲナシテ同線ノ外ニ突出ス但其形其大各相似タリ上ヲ滿州ノ東部トナシ下ヲ支那本部東南ノ地トス黃河口ハ「十三」「十九」兩點ノ中央ヨリ稍上ニアリ其右ニ近ク揚子江口ヲ畫クベシ○海南島ハ「十五」點ニ當リ東京灣ノ口ニアリ又東埔塞岬ハ「十七」點ニ近ク線內ニ暹羅灣アリ今若シ「仁」波」線ト平行ニ並ヘテ東埔塞岬ヨリ一線ヲ畫クトハ暹羅灣及孟加拉灣ノ東北海岸ノ位置ト其方向トヲ定ムルヲ得ベシ但此假線上ニテ東埔塞岬ヨリ「仁」波」線二部ノ距離ノ處正ニ加爾各答府ナリ

備考　假ニ「十一」點ヨリ「十三」點ヘ一線ヲ引キ均シク七部ニ分チ下ヨリ數ヘ第二區分點ヲ中心トシ「仁」波」線ノ一部半アル長サノ半徑ヲ有テル弧線ヲ其線外ニ施シ均シク八部ニ分ツヘシ○撒該連島ノ東岸ナルパチーンス岬

ノ頸ハ北緯五十度弧線ノ第一區分點ニ觸レ北海道ノ北隅宗谷右側ノ岸ハ第二區分點ニ觸レ膽振ノ江巴岬ハ正ニ此部ノ線上ニ當レリ陸奥ノ西北部十三遍ハ第三區分點ニ接近シ石見ノ西岸ハ第五區分點ニ觸レ九州ノ北西岸ハ第五第六間ノ線ニ從カヒ平戸ハ其中央ニ當レリ○又「波」「仁」線一部ノ長ナル半徑ノ弧線ヲ「十四」點ヲ心トシ線外ニ引クトキハ千島ノ位置并ニ堪察加半島ノ東岸ヲ定ムルヲ得ベシ印度洋海岸「波」ノ角點ニ羅馬尼岬ヲ畫キ岬ノ南ニ接近シテ新嘉坡島アリ「六」點「四」點ノ線ニ追從シテ印度ノ東岸ヲ畫キ其「廿三」點ハ哥摩令岬ナリ此點ノ右側ニ錫蘭島アリ岬ヨリ北上スル線ヲ追フテ前印度ノ岸ヲ畫キ比耳西亞灣ノ首ハ「廿四」點ノ稍右ノ下ニアリテ灣ハ此線ノ兩側ニ亘レリ幼發拉的河モ亦大抵此線ヲ追フテ畫クヲ得ベシ

亞剌比亞ハ「二」點ヨリ「七」點ニ畫ケル線ノ中央ヨリ左ニテ其南岸ハ此線ニ觸ルヽ「廿一」點ニイソレット岬アリ「二」點ニ巴伯曼德峽アリ其中間ニ

ハルタック岬アリ「一」點ト「三」點トノ間ノ左ニ蘇士ノ地峽アリ紅海ノ東岸ハ首線ニ沿フテ其地形ヲ畫キ得ヘシ○「以」ノ角點ニ勃斯波路斯ノ海峽アリ黑海ハ東方ニ延長シテ「八」點ノ區分點ノ線ニ及ヒ又西北シテ亞東海口ノ東角ニ至ル北海岸ノ圖ハ大略易直ナルカ故ニ別ニ之ヲ講說スルヲ須ヒス唯「十一」「十二」兩點ノ間ニ塞威岬又北東岬トモノ氷海ニ突出スルノミ○烏拉爾山ノ南部ハ「十」點ヨリ「九」點ヘ引ケル線ヲ右ニ離間スル此線一部ノ四分一ニ殆ク烏拉爾河ハ「廿」點ノ少シ上ニ於テ此線ヲ横過シ南ノ方裏海ニ入ル○裏海ハ同線ノ兩側ニ亙リ「廿」點ノ少シ左下ヨリ「以」「波」線ノ近クニ延長ス而ノ高架索山ハ黑海ノ北岸ヨリ裡海ニ延長ス但此山脈ヲ畫ケハ是ニ於テ亞細亞ノ外邊圖ハ完成セリ○精密ニ意ヲ用ヒテ摸範ノ圖ヲ習練スルキハ容易ニ外部ノ形狀并ニ内部ノ位置ヲモ學フヲ得且記臆中ヨリシテ之ヲ畫クヲ得ヘキナリ

備考　今假リニ「九」點ヨリ「十四」點ニ向ケテ一線ヲ引キ之ヲ六分スルキハ俱加羅湖ハ右ヨ

リ第二區分點ニ於テ線ヲ横過シ巴爾噶須湖ハ第四區分點ノ直下ニ當リ鹹海ハ第五區分點ノ直上ニアリ

描圖演習ノ法方

描圖ノ演習ヲ行フニ或ハ問ヲ設ケテ唯圖ヲ講說セシムル者アリ又次ニ掲ル如キ問答ノ法ヲ設ケテ之ヲ行ハシムルモアリ

亞細亞　基罫ヲ製作シ終リタルトキ各生徒皆圖ヲ畫ク用意ヲナスヘシ但シ初ノ程ハ地圖ヲ手ニシテ畫キ後ニハ全ク記臆上ヨリシテ畫クヲ得

ヘキナリ○教師ノ令スル毎ニ衆生徒皆同時ニ敏ニシテ且ツ正シク其令ヲ行フヘシ但シ教師ノ令スル結尾ノ辭ヲ聞キ直ニ之ヲ行フモノトス○生徒何レモ皆己カ畫カント欲スル圖ノ基罫ヲ塗板上ニ備フルヿト定ムヘシ

外邊圖

（教師）亞細亞ノ東北角ハ何ト云フ地ナルヤ

（生徒）東岬

（教師）東岬ハ何ノ處ニアルヤ之ヲ指點スヘシ（生徒此時之ヲ指點ス）又羅馬尼岬ハ

東岬ノ何ノ方ニアルヤ

(生徒) 南西

(教師) 羅馬尼岬ハ何ノ處ニアルヤ之ヲ指點スヘシ(生徒之ヲ指點ス)

(教師) 次ニ舉ル如キ東岬ヨリ羅馬尼岬ニ至ル間ノ地名ヲ打點シテ示スヘシ

第一 堪察加半島(生徒此時筆ヲ以テ打點シテ之ヲ示ス)

(教師) 東岬ノ東ト南トニ如何ナル峽ト海アルヤ

(生徒) 白令峽ト白令海

(教師第二) 撒該連島(生徒打點シテ示ス)

(教師) 堪察加半島ト撒該連島トノ間ニ如何ナル海アルヤ

(生徒) 狗哥斯科海

(教師) 撒該連島ノ南ヨリ斷續海上ニ連リテ南西朝鮮半島ノ南ニ接スル島ヲ何ト云フヤ

(生徒) 日本

(教師) 日本ハ幾島ヲ總稱スルヤ

（生徒）北海道中洲四國九洲ノ四島

（教師）日本ノ西ニ對セル大陸ハ何ト名クルヤ

（生徒）滿州

（教師）日本ト滿州トノ間ナル海ヲ何ト名クルヤ

（生徒）日本海

（教師）第三　朝鮮半島（生徒打點ス）

（教師）朝鮮ノ西方ナル海ハ何ト云フヤ

（生徒）滄海

（教師）滄海ノ西北ニ如何ナル灣アルヤ

（生徒）北直隸灣

（教師）第四　海南ヲ打點シテ示スヘシ（生徒打點ス）

（教師）第五　東埔塞岬ヲ打點シテ示スヘシ（仝右）

（教師）海南東埔塞ノ東方ノ海ヲ何ト云フヤ

（生徒）支那海

（教師）東埔塞岬ノ内ニ如何ナル灣アルヤ

（生徒）暹羅灣

（教師）東岬ヨリ堪察加半島ノ海岸線ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ畫ク）○珂哥斯科海ヲ畫クヘシ（同上）○珂哥斯科海ヨリ朝鮮半島ノ海岸線（同上）○撒該連島ヨリ日本ヲ畫クヘシ（同上）○朝鮮ヨリ海南島ニ至ル海岸線及其島（同上）○東京灣ヨリ柬埔寨岬ニ至ル海岸線（同上）暹羅灣ヲ畫クヘシ（同上）

此時教師ハ生徒ノ製作シタル圖ヲ一覽シ謬誤アレハ之ヲ示シ且正スヘシ

此如クシテ亞細亞外邊ノ圖ヲ完了セシムヘシ

但シ又次ニ掲クル地名ヲ圖ノ區分點トシテ之ニ打點セシムルヲ要ス其地名ハ勒那河口珂比灣烏拉爾山ノ中央裏海ノ南北兩端勃斯攸路斯峽蘇士ノ地峽巴白曼德峽イツレット岬コツチ灣哥摩令岬摩打拉斯府各爾各答府是ナリ

山

（教師）喜馬拉山ハ何レノ處ニ起リ何レノ地ニ延長スルヤ

（生徒）印度ノ北西境ヨリ起リ山勢弓形ヲナ

レテ東南ニ延長シ此國ノ東疆ニ至ル

（教師）此山ノ高サハ幾許ナルヤ

（生徒）世界ノ最高山ニシテ其高サ凡ソ一萬六千尺以上（三里以上ニ及ヘリ但東西ノ兩端ニ於テハ稍之ヨリ低シトス中央至峻ノ峯ハ或ハ五里半ニ及フヘシ）

（教師）喜馬拉ノ山勢ヲ適宜ニ畫クヘシ（生徒之ヲ畫ク）

（教師）喜馬拉山ノ北方ニ重リ峙ツ三個ノ山脈ヲ問フ

（生徒）崑崙山天山及阿爾泰山

（教師）崑崙天山ハ何レヨリ起ルヤ

（生徒）葱嶺

（教師）崑崙山ノ東端ハ何ト名クルヤ

（生徒）支那ノ北嶺

（教師）崑崙山及北嶺ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ畫ク）○天山（同上）○阿爾泰山（同上）

（教師）裏海ト黑海トノ間ニ横亘スル山ハ何ト云フヤ

（生徒）高架索山

(教師) 此山ノ高幾許ノ

(生徒) 凡ソ八千尺ヨリ一萬六千尺ニ至ル中間ノ西ニ聳ユル高峯ノ如キハ三里半ニモ及フヘシ

(教師) 此山脈ヲ畫クヘシ(生徒之ヲ畫ク)

此時教師ハ山ノ圖ヲ閲シ誤アレハ之ヲ正スヘシ

湖

(教師) 亞細亞洲中著大ナル湖ヲ舉クヘシ

(生徒) 貝加羅湖(バイカル)巴爾喀什湖(バルカス)鹹湖(カスピ)裏海(カスピ)ナリ

(教師) 湖水ノ出路ハ如何

(生徒) 貝加羅湖ハ其西方ナルコソゴル湖ノ水ヲ受ケアンガラ河ニ注瀉シ日尼塞(エニセイ)河ニ合シテ北流シ北海ニ入ル他ノ三湖ハ皆一二河流ノ此中ニ注流スルノミ出路ナシ

(教師) 貝加羅湖ノ位置ヲ示スヘシ(生徒打點シテ之ヲ示ス)○巴爾喀什湖(同上)○鹹湖(同上)○裏海(同上)

(教師) 就中淡水湖ハ何レナルヤ

（生徒）貝加羅湖巴爾噶什湖

（教師）貝加羅湖ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ畫ク）○巴爾噶什湖（同上）○鹹湖（同上）○裏海（同上）

此ノ如クシテ湖ノ圖ヲ畫クヘシ

河

（教師）痾比河ノ形勢ヲ說クヘシ

（生徒）痾比河ハ其源ヲ阿爾泰山ノ西部ナル北斜面ヨリ發シテ初ハ迂餘北方ニ流レ中半ニ至リ西北ニ轉レイルチス河ト合シテ彎曲北ニ流レ痾比灣ニ入ル

（教師）此河ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ畫ク）○日尼塞河ヲ前ト同法ニテ說キ且之ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ說キ且之ヲ畫ク）○勒那河（同上）○黑龍江（同上）

（教師）支那ノ二大河ハ何ナルヤ

（生徒）黃河及揚子江

（教師）其形勢ヲ說キ且之ヲ畫クヘシ（生徒之ヲ說キ且之ヲ畫ク）○瀾滄江（同上）○怒江（同上）

(教師) 恒河印度河ヲ說キ且畫クヘシ(同上)

(教師) 比耳西亞灣ニ流注スル二河ハ何ト云フヤ

(生徒) 幼發拉的河及底格里河

(教師) 之ヲ畫クヘシ(生徒之ヲ畫ク)

此ノ如クシテ河ヲ畫キ終レハ教師之ヲ檢査スヘシ

邦國都府

(教師) 餘カ呼フ順序ニ從テ次ノ邦域ヲ說キ且都府ヲ記シ併セテ下ニ舉ル如キ記號ヲ以テ各都府ノ人口ヲモ示スヘシ

(教師) 西比利亞

(生徒) 西比利亞ハ亞細亞北部ノ總稱ニノ北ハ氷海ニ瀕シ西ハ烏拉爾山烏拉爾河ヲ隔テ魯西亞本部ニ連リ南ハ裏海ヨリ達爾給斯丹蒙古ニ界シ東南ハ日本海西岸ヨリ滿州ノ海岸ニ沿シ東ハ撒該連島堪察加半島ヲ包子テ東岬ニ至リ盡ク魯西亞ノ屬地ナリ土地多クハ廣漠ナル原野ニシテ舉クヘキ著大ノ府

邑ナシ

國名	都府	人口	國名	都府	人口	國名	都府	人口
日本帝國	東京 西京	十	支那帝國	天津 清州 漢口 奉天	⊗	朝鮮	漢城	〃
安南	順化	⊙	暹羅	曼谷	⊙	緬甸	〃	〃
印度	加尔各答 孟買	⊞	俾路芝	基拉	○	比耳西亞	德黑蘭	⊙
亞剌伯	〃	〃	亞細亞耳其	土耳其 大馬士革	⊙	日爾日曼	〃	〃
達爾給斯丹	布哈尔	⊙	阿富汗	喀布尔	⊞	東達爾給斯丹	茶尔羌	⊙
克什米爾	〃	〃	尼伯爾	〃	〃	不丹	〃	〃

日本描圖篇

宮本三平　原撰

基罫

第一　其畫カント欲スル圖ノ幅員ニ應スヘキ長ヲ度リテ先五十九度ニ傾ケル「以」「呂」ノ線ヲ畫カキ之ヲ十部ニ分カチ其中央ヲ「波」點トス首線三部ノ長ナル線ヲ「波」ヨリ右ニ直角ニ引キ其端ヲ「仁」點トシ三部ニ分ツヘシ而シテ「以」「仁」及「仁」「呂」ヲ連結シ「以」「仁」線ヲ五部ニ分チ「仁」「呂」線ヲ二部ニ分チ其右ノ一部ヲ更ニ四部ニ分ツヘシ○又「波」「ニ」

ノ間ヲ更ニ四部ニ均分スヘシ

第二　首線ノ「以」ヨリ右ニ首線ノ二部ヨリ稍長キ線ヲ正角ニ引キ三部ニ分チ「十一」ヨリ又右ニ一線ヲ正角ニ引キ前ノ線端ト會セシメ其尖ヲ「保」トシ「保」ヨリ「十」點ヲ貫キテ左ニ出ル凡ソ首線一部ノ長ナルヘシ此端ニ「連」ヲ記シ「保」「十」點トノ間ヲ三部ニ分チ「以」ト「十」點ノ間ヲ四部ニ爲スヘシ○次ニ首線一部ノ二分一ナル長ノ線ヲ「十二」點ヨリ右ニ正角ニ引キ「止」點トシ「十」「十三」ト連ヘシ又首線ノ「知」ヨリ「以」「止」線ニ平行セル一線ヲ引キ「仁」「呂」線外ニ出シメ「利」ヲ記シ七部ニ分ツヘシ

第三　首線ノ一部ニ其四分一ヲ加ヘタル長ノ線ヲ「四」點ヨリ左ニ直角ニ引キ「奴」ヲ記シ均シク兩分シ其左ヲ更ニ三分シ「呂」點ト連テ之ヲ三分スヘシ又「奴」ヨリ一線ヲ引キ「一」點ヲ貫キテ「せ」點ノ上ニ至ラシメ之ヲ七部ニ分ツヘシ又「一」點ヨリ一線ヲ引キテ「仁」「呂」線ノ中央ニ達シ「留」ヲ記シ之ヲ三部ニ分チ「留」ヨリ「四」ヘ一線ヲ引キ三部ニ分チ「せ」「九」「三十」點間ノ中央ヨリ「奴」「呂」ノ上ノ區分點ニ一線ヲ引「甲」「乙」ヲ記シ六部ニ分ツヘシ

概勢

日本帝國ハ太平洋ノ北西隅ニ蟠峙セル四大島及許多ノ小島ノ總稱ニメ其地勢東北千島ノ沾守島ヨリ直ニ南西琉球島ニ走リ其形狀遊龍ク波上ニ宛轉タルカ如ク東西相距ル殆ト二千二百里餘然レ𪜈境域接邇シテ氣脈ノ貫通スルハ四大島ヲ以テ最モ緊要トス故ニ此圖ハ北見ノ納登狹牛ニ起リ大隅ノ佐多岬ニ至ル其長英法千百六十里トス基罫ノ首線ニ由テ大約其長ヲ度ルベキナリ

符合點

基罫ノ北角ナル「以」點ヲ以テ納登狹牛ノ位置ヲ定メヘク南角ノ「呂」點ハ佐多岬ナリ東南ナル「仁」點ヲ犬吠崎トシ東角ノ「保」點ヲ以テ花咲ヲ定メ「止」點ハ龜崎ニシテ「曾」點ハ汐ノ崎ナリ西角ノ「奴」點ハ平戸ノ位置ヲ示ス

描圖法

第一　北海道ノ東北及南海岸　北見ノ北角ナル納登狹牛岬ヨリ始メ「以」「保」ノ線ニ出入シテ其海岸ヲ畫キ第二區分點ノ左ニ野登呂岬ヲ畫キ

同點ノ稍右ヨリ線外ニ突出スル者此一部ノ長ニ殆ク知床岬ヲ畫キ野付岬ハ線外ニ近ク根室ノ灣ハ線内ニアリ「保」點ニ於テ花咲ヲ畫クベシ此點ヨリ東北ニ斗出スルハ納沙布ノ崎ナリ「保」「遵」線ノ右ノ區分點内ニ彎入シテ釧路十勝ノ海岸ヲ畫キ左ノ區分點ノ稍右ニ於テ線外ニ斗出スル襟裳崎ヲ畫キ同點ト「十」點トノ間ニ膽振渡島ノ灣入セル海岸ヲ畫クヘシ「十一」「十」兩點ノ中央ノ稍南ニ江巴崎及室蘭ノ小灣ヲ畫キ「十」點ノ北ニ渡島ノ恵山崎ヲ畫クヘシ此地ヨリ左ニ近ク箱館アリ

西海岸　以「仁」線ヲ追フテ札幌ニ至ル迄ノ海岸ヲハ線内ニ畫ク但「十一」點ノ上ヨリ斜ニ線外ニ出テ石狩河口ハ「十一」點ニ近ク其下ニアリ積丹岬ハ「知」ト「十八」點ノ中央ニ畫クヘシ歌棄灣ハ正ニ「十八」點ニ爾ル、後志ノ西南岸ハ同點ヨリ線外ニ突出シ福山ハ「十九」點ニ接ノ其右ニ畫ク同點ノ直下ニ白神ノ岬ヲ畫キ此岬ト恵山崎ノ中間ニ箱館灣ヲ畫クヘシ是ニ於テ北海道ノ外邊圖ハ完了セリ

第二　中洲東岸及南海岸　「以」「仁」線ノ「十」點ノ左ニ近ク「保」「遮」線ノ上ニ於テ陸奥ノ大間岬ヲ畫キ同點ノ右旁ヲ稍下リ「止」線外ニ斗出シタル尻矢崎ヲ畫キ岸勢線ノ内外ヲ追從シテ「止」點ニ至リ陸中ノ龜崎ヲ畫キ「止」ト「十三」點ノ中央ヨリ稍南ノ線外ニ斗出シテ陸前ノ黑崎ヲ畫キ此線内ハ松島ノ灣ナリ灣ノ北岸ニ北上川口ヲ畫キ阿武隈河口ハ「十三」點ノ直上ニアリ線外ニ磐城ノ東岸ヲ畫キ常陸ノ岸ハ線内ニ灣入ス「仁」點ノ上ニ利根ノ河口ヲ畫キ之ニ接シテ下總ノ犬吠崎ヲ畫クヘシ○總房ノ海岸ハ「仁」「呂」線第一部ノ半ヨリ稍右ニ於テ線ヲ横過シテ外ニ出ルモノ首線一部ノ四分一ナルヘシ「知」「利」線「仁」「呂」線トノ交叉ト「せ」「に」點トノ中央ヨリ稍南ニ東京ヲ畫クヘシ隅田利根ノ河口ハ京ノ東ニアリ東京灣ノ南東岸ハ「仁」「呂」線ニ從ヒ安房ノ洲崎ハ「知」「利」線ニ觸レテ畫クヘシ相摸ノ三崎ハ「仁」「呂」ノ「十五」點ノ外ニ畫キ遠江ノ御前岬ハ「十四」點ニ當テ線外ニ畫クヘシ伊豆半島ハ此兩點ノ中央ニ於テ線外ニ突出ス相摸灣ハ半島ノ右ニ駿河灣ハ左ニ於テ各

線内ニ畫ク駿河ノ灣首ハ線ヨリ北ニ入ル者殆ト此線半部ノ長サニテ灣首ノ左ニ富士川口ヲ畫クヘシ「十四」點ヨリ「留」ニ至リ遠三勢紀ノ海岸線内ニ灣入スルモノ此線半部ノ長サニ至ル濱名湖口ハ「十四」「十六」兩點ノ中央ヨリ少シ右邊ニテ線内ニ畫キ志摩ノ大王崎ハ「十六」點ノ内ニ畫キ其左岸ノ灣環ハ同點ト「留」點トノ半ヨリ稍左ニテ線ヲ横過シテ出テ紀ノ汐ノ岬ハ「留」ノ右側ニ於テ線外ニ突出シ畫クヘシ

（備考）假ニ「一」「二」ノ中點ヨリ「仁」「留」ノ中央ニ一線ヲ設ケ均ク四分スレハ伊勢海ノ首ハ第二部ノ中央ト第一區分點ノ半ニノ線上ニ觸ルル海首ノ左ニ木曾川口ヲ畫クヘシ伊勢海ノ右ニアル小灣ノ首ハ正ニ同區分點ニ當レリ又琵琶湖心ハ此線上ニ當リテ其西岸ハ第二區分點ニ觸ルヽ若狹丹後ノ北岸ハ第三區分點ノ右ニ出入シ經岬ハ同點ノ北ニアリ而ノ隱岐島ノ北東岸ハ此線上ニテ首線ヨリ左ヘ其一部ノ四分一ヨリ稍遠ク離レテアリ

内海岸　紀ノ西南岸ハ汐岬ヨリ「留」「一」ノ線ヲ追

フテ線外ニ凹凸シ日ノ岬ハ「廿九」點ノ下ニテ線外ニ畫ク而ノ浪華海ノ口ハ同點ノ右ニシテ稍上ニ畫キ淡路島ノ南岸ハ此點ノ稍上ニテ線ヲ横過ス其西岸ナル湊ハ此線ニ觸レテ畫クヘシ「三十」點ニ備前ノ東南部福浦ヲ畫キ少シク彎曲シテ東シスレハ播摩ノ海岸ニノ淡路ノ北角ト一帶水ヲ隔テ峽ヲナシ浪華海ニ連ル（次ノ備考ヲ參看ス）ヘ「三」點ノ少シク上ニ安藝ノ南隅ヲ畫キ其左ノ灣内ニ嚴島アリ廣島ヲ灣ノ北首ニ畫クヘシ假リニ「三」ト「廿七」點ニ一線ヲ引ケハ防長南岸ノ位置ヲ定ルヲ得ヘシ上關ハ「三」點ヲ離レテ西ニ畫キ赤馬關ハ「廿八」點ヲ左ヘ少シ離レテ線上ニ畫クヘシ

（備考）假リニ「八」點ヨリ「廿九」點ニ一線ヲ引キ均シク三分ニ分チ下ノ一部ヲ更ニ三分スレハ浪華海ノ首ハ右ノ區分點ニ觸レ左ノ區分點ハ海心ニアリ淡路島ノ北首ハ此點ト並ヒテ其左上ニアリ淀川口ハ海ノ首ニ畫キ武庫川口ハ其左ニアリ而ノ越前ノ敦賀灣ハ此線ノ中部ノ中央ニ當リ立石嵜ハ線外ニアリ其

ヨリ以北越前賀能ノ海岸線ハ此線ニ從フテ畫クヲ得ヘシ○又「三十」點ヨリ「丑」「己」線ノ上部ノ中央ヘ一線ヲ引キテ兩分スレハ備前ヨリ周防ニ至ル海岸ノ方向ハ右部ノ線ニ從フ定ムルヲ得ヘシ上關ハ區分點ヲ離ルヽ南東少許ニアリ

西北海岸　陸奥ノ大間岬ヨリ「保」「遵」線ヲ横過シテ入リ九艘泊ノ岬ヲ畫ク此内海ヲ青森灣ト稱スル田名部ノ灣ハ「十」點ノ下ニテ「以」「仁」線ノ右ニアリ此線ヲ横過シテ左ニ夏泊ノ鼻ヲ畫キ龍飛岬ハ「保」「遵」線外ニ出ル丨少許小泊岬ハ同線ニテ「知」「利」線ノ右ニ畫クヘシ「十九」「十七」兩點ノ中央ヨリ「廿一」點ノ下ニ至ル迄線ヲ出入シテ陸奥羽後ノ西岸ヲ畫キ鳥井崎長崎ハ線外ニアリ野代河口ハ線内ニ畫ク男鹿岬ヲ「十七」點ノ下ノ左側ニ畫キ八郎潟ハ同點ノ直下ニシテ線上ニ當ル「廿一」點下ヨリ以西能登ノ内灣ニ至ル迄海岸線易直ニシテ漸次ニ彎曲スルノミ「廿一」點ノ下ニ酒田河口ヲ畫クヘシ是レ兩羽ノ國界ナリ河口ヨリ線ヲ離開シ斜ニ左ヘ下リ「廿四」點ヨリ右ヘ首線

一部ノ半離レテ赤川ロヲ畫キ其左少許ノ處ニ信濃川ノロヲ畫クヘシ卽チ羽前ヨリ越後ノ海岸ナリ此川ロヨリ稍左ニテ線内ニ灣入レ越後越中ノ海岸ヲ畫キ「せ五」點ノ少シ右部ニ對シテ彎曲シ線ヲ横過シテ外ニ出テ斜ニ右上シテ能登ノ内岸ヲ畫キ「八」點ニ狼烟崎ヲ畫クヘシ「せ四」點ノ直南ニ關川ロヲ畫ク佐渡島ノ澤岬ハ「せ四」點ノ直北ニシテ同點ヲ距ル首線一部ノ八分ノ一トス「せ五」點ニ能登ノ地頸ヲ畫キ此ヨリ線内ニ入リテ越前若丹ノ大灣ヲナセル海岸線ヲ畫クヘシ（前ノ備考ト丹但因伯ノ海岸ヲ線内ニテ參看スヘシ）「せ三」「せ八」兩點間ニ畫キ漸次線ニ近ツキ伯耆ノ西部ヨリ線外ニ出テ日根野河ロヲ「一」點ノ左側ニ畫キ夜見ノ濱ヲモ畫クベシ三穗ノ關ハ留「一」線ノ通ニテ「一」點ノ上少許ニアリ此ヨリ以西出雲ノ半島ヲ畫キ此内ニ中海濱道湖ヲ畫クベシ石見長門ノ海岸ハ素直ナレハ只線ヲ追フテ外ニ畫クヘシ「せ八」點ノ左側ニ至リ線ヲ横過シテ内ニ入リ赤馬關ニ接ス

（備考）「奴」ヨリ「一」「二」點ノ中央ニ一線ヲ達スル

キハ石長ノ海岸ハ大約線上ニ觸ル、唯長門西端ノ一部ノミ僅ニ線外ニ斗出ス此線ヲ追フテ「奴」ヨリ西南ニ出ル一首線一部ノ半ニ當ル處即チ五島ノ福江島ノ北西隅ナリ

第三　四國九州ノ小基罫　基罫ノ下ノ一部「ニ」「留」ノ線ヨリ發テ小基罫ヲ造ルヘシ先「奴」「呂」間ヲ六分ニ均分シ「卅一」點ト「卅二」點ノ間ヲ二分シ「卅二」點ト「四」點ノ間ヲ三分シ而シテ新ニ「甲」ト「卅一」點ニ線ヲ引キ「ハ」ト「ル」ニ一線ヲ引キ各均シク三部ニ分ツヘシ又「奴」ヨリ右ヘ首線一部ノ四分ノ三離レテ一點ヲ記シ此點ヨリ「ル」ニ一線ヲ引キ四部ニ分チ「ホ」ト「乙」「呂」間ノ中點「ヂ」ニ一線ヲ引キ三部ニ分チ其一部餘邊「呂」線外ニ引出シ首線ノ「四」「呂」間ヲ三部ニ分ツヘシ

四國ノ外形　「甲」ト「卅一」點線ノ上ノ區分點ニ近キ岡崎ノ鼻ヨリ線外ニ突出セル阿波土佐ノ東海岸ヲ畫クヘシ鳴門ハ岡崎ノ東ニ畫キ蒲生田崎ハ此線ヨリ凡ソ其一部ノ半右ニ離レ兩區分點ノ中間ニ當リ海ヲ隔テ正ニ紀ノ日ノ岬ニ對ス土佐ノ室戸崎ハ近ク「卅一」點ノ左ニアリテ線

ニ觸ル、足摺ノ岬ハ「卅二」點ノ右側ニ畫ク此兩點ヨリ線内ニ灣入スルモノ大略此一區部ノ半ナルヘシ之ヲ土佐ノ灣トス灣ノ北首ニ仁淀河ノ口ヲ畫キ其口ノ左側ニ小港アリ其外ニ與津ノ岬ヲ畫クヘシ吸江ヲ此右方ニ畫ク○岡崎ヨリ斜ニ左ヘ上リテ「甲」「乙」線外ニ突出シ讃岐ノ北岸ヲ畫カク八島ハ第一部ノ中央ニ近シ乃生崎ハ「イ」ノ右ニメ少シク線外ニ畫ク箱崎ハ「イ」ノ左ニテ北西ニ斗出ス箱崎ヨリ直ニ線内ニ入リ灣環線ヲ出入シテ「ロ」ノ右ニ至リ北西ニ突出スル

モノ此線一部ノ半ニメ梶取崎ヲ畫クヘシ梶取崎ヨリ首線ニ併行シテ「甲」「乙」線内ニ入リ此線ト平行シツヽ首線ヲ横過シテ「ハ」ノ左ニ斗出スルモノ大約「甲」「乙」線一部ノ三分一ノ處ニ伊豫ノ三崎ヲ畫ク又線内ニ入リ川ノ口ヨリ南シ「ハ」「ル」ノ線ニ出入シテ伊豫ノ西岸ヲ畫クヘシ此地ノ海岸形ハ甚タ凹凸セリ由良ノ岬ハ第一第二區分點ノ中央ニテ線外ニ斗出シ鼻面崎ハ第二區分點ニ觸ル、此ヨリ線内ニ入ルモノ此線一部ノ長ニ近ク小灣ヲナシテ南シ「留」線ニ從テ東足摺

ノ岬ニ接ス

九洲ノ外形「サ七」點ノ左ノ一點ハ馬關海峽ノ中央ヲ示ス此點ノ下ニテ「ル」線ノ右ニ斗出レ豐前ノ田ノ浦及早鞆ノ瀨戸ヲ畫ク瀨戸ヨリ線内ニ中津ノ灣ノ内岸ヲ畫キ上ノ區分點ノ下ヨリ右ニ突出セル豐後ノ半島ヲ畫キ抔築日出別府ノ岸ハ灣形ヲナス「ニ」ヨリ「甲」「乙」線ヲ過キテ右ニ折レ地藏カ岬ヲ畫ク岬端ハ「ル」線ニ至リ海ノ隔テ伊豫ノ三崎ニ對ス其ヨリ線内ニ小灣ヲナレ蒲戸崎ハ同線ヲ出ル少許首線「三」「四」ノ中央ニ近

シ此ヨリ首線ニ併ヒ下ル少許右ノ方崔岬ニ至ル此岬ハ首線ノ右ニ出テ「ル」線ノ下ノ區分點ノ稍下ニ對ス此ヨリ首線ヲ追フテ「四」點ニ至ルノ海岸線ヲ畫ク日向界ニ入リテ日知港ヲ同點ニ畫キ此ヨリ岸勢易直ニノ漸々首線ヲ右ニ離開レ「ツ」ノ下ニ至テ「留呂」線ニ觸レ都井崎ヲ畫キ内ニ内ノ浦ヲ畫ク灣ノ左角同線上ニ大隅ノ大崎ヲ畫キ「ツ」ノ少シ下ニ灣首并ニ高隅河口ヲ畫クヘシ大崎ノ左ニ觀音崎「呂」ニ佐多岬ヲ畫クヘシ

○馬關ノ海峽ヨリ左ニ奴「ー」ノ線ニ從テ肥前筑

前ノ北西岸ヲ畫クヘシ此地形亦灣環甚シク突出スルモノ四灣入スルモノ三アリ馬關ノ黙ノ少シ左ニ山鹿浦ヲ線ニ觸レテ畫キ袖ノ湊ハ「セ」ト「奴」點ノ中央ニテ殆ト線ニ觸レカラ泊ハ其左ニテ線内ニアリ呼子ノ浦ハ「奴」ノ右ニテ線ニ觸ル、此兩間ノ線内ニ松浦潟ヲ畫クヘシ「奴」點ハ田平ノ角ナリ其左ニ平戸島ヲ畫ク「奴」呂線ニ從テ「ヘ」ノ上部ヨリ線内ニ入リ大村湾ノ入江ヲ畫ク入江ヲ包ミテ「ヘ」ニ半島ヲ畫キ半島ノ頸ニ狹小ナル港ヲ畫クヘシ港首ノ右ハ長崎ナリ

「ヘ」「乙」ノ中央ニテ長崎港ノ左ニ斗出スル野毛崎ヲ畫キ又線内ニ入ルモノ殆ト半部ノ長サ其奥ニ小灣ヲ畫ク灣ノ東北首ハ島原半島ノ頸ニテ其南端ハ殆ト「甲」「乙」線ニ近シ前海ノ西岸ヨリ肥前筑後ノ内海ヲ畫キ其西岸ハ「カ」ニ觸レテ畫ク「カ」ノ左ノ下ニ諫早ノ小灣ヲ畫キ右上ニ筑後川ノ口ヲ畫クヘシ前海ノ東岸ハ筑後肥後ノ海岸ナリ迂回レテ「奴」「四」線ヲ「カ」「ホ」ノ間ニテ横過シ折レテ「甲」「乙」線ヲ過キ左ニ彎レテ岬ヲナス岬前ハ三角瀬戸ナリ岬ヨリ「ヨ」ノ左上ニ至リ其ヨリ左

ヘ易直ニ「ト」ノ上ニ至リ薩摩ノ隼人ノ瀬戸ヲ畫クヘシ瀬戸ノ北岸ハ肥後ノ長島ナリ天草下島ハ「乙」「ト」間ノ上部ニテ線ヨリ内ニ斜ニ横リ天草上島ヲ其右ニ畫キ長島ヲ其下ノ線上ニ畫クヘシ「ト」ヨリ海岸線ヲ畫キテ線外ニ出テ漸々離開シテ「レ」點ニ近ク野間岬ヲ畫キ川内河口ハ「ト」「チ」ノ中央ヨリ稍下ノ左ニ畫クヘシ而シテ防津岬ヲ畫カキ海門岬ハ「リ」「呂」ノ中央ノ左ニ畫キ同線ヲ横過シテ灣口ニ至リ山川ノ港ヲ畫キ内海ノ西岸「チ」「リ」ノ中央ニ鹿兒島ヲ畫キ之ニ對シテ櫻島ヲ畫キ東北シテ海ノ北首ニ新川口ヲ畫キ東岸ハ彎曲シテ左シ櫻島ノ東南岸ニ接近シ又南シテ首線ニ從ヒ佐多岬ニ接ス九州外邊ノ圖ハ此ニ於テ完了セリ

北亞米利加

基罫ヲ畫スル法

第一　一象限ヲ畫キテ之ヲ第一圖ニ示セル如ク均シク四部ニ區分シ次ニ其第一區分點ノ「ニ」點ト直角ノ「以」點トヲ經テ畫カント欲スル圖ノ大ニ適フヘキ長ナル基罫ノ首線ヲ畫スヘシ

第二　此首線ノ中央ヨリ之ト直角ニ其長ノ二分一ナル「波仁」ノ線ヲ畫キ次ニ「以」ト「仁」ノ點ト及「呂」ト「仁」ノ點トヲ連接スベシ

第三　「波仁」線ヲ「保」點ノ所マテ接キ延シテ「仁保」

線ノ全長ヲ「以仁」及「呂仁」線ノ長ト均レクスベシ
次ニ「以」ヨリ「保」及「保」ヨリ「呂」ニ線ヲ畫クベシ
第四　「以保」線ヲ四部ニ平分シ而シテ其最上ノ區分點ノ「知」ヨリ此線ト直角ニ長「保波」線ト均シキ「知利」線ヲ畫キ次ニ「以利」ノ二點ヲ連接スベシ
第五　「保呂」線ヲ均シク二部ニ分ケ而シテ其線ノ中央ヨリ之ト直角ニ「保波」ノ長ノ二分一ナル「登奴」線ヲ畫クベシ
第六　「波仁」及「波呂」ノ二線ヲ各二部ニ平分シ而シテ「以仁」及「仁呂」線ハ各六部ニ平分スベシ

第七　「仁呂」線ノ最下ノ區分ヲ更ニ均シク三部ニ分チ而シテ「十四」ノ點ヨリ右方ヘ一線ヲ畫キテ「十五」點ニ至ラシメ又「十五」點ヨリ下方ヘ一線ヲ引キ下シテ「十六」點ニ至ラシメ次ニ又「十六」點ヨリ右方ヘ他線ヲ畫キテ「十七」點ニ至ラシム但シ此各線ノ長サハ「十二」點ヨリ「呂」ニ至ル距離三分ノ二ナルベシ
斯ノ如クシテ精密ニ基罫ヲ畫クトキ「以仁」「保仁」及「呂仁」ノ諸線ハ各其長互ニ相均シク且「以保」線ハ垂直ナルヲ見ルベシ

位置　北亞米利加ハ赤道ノ北ニアリ巴那馬ノ地峽ヲ以テ南亞米利加ニ連レリ

長　北ハポイント、バルローヨリ南ハ瓜地馬拉港ニ至ル此大洲ノ最大ノ長四千八百里○此長ハ基羅ノ首線ヲ以テ之ヲ示セリ

符合點　ポイント、バルローノ位置ハ基羅ノ北ノ角點ヲ以テ之ヲ定ムルヲ得又查耳岬ハ東ノ角點瓜地馬拉港ハ南ノ角點三方濟各港ハ西ノ角點、及亞爾斯加半島ハ北西ノ角點ヲ以テ皆其位置ヲ定ムルヲ得ヘシ

概形　北亞米利加ノ概形ハ三稜ニシテ北方ハ廣ク南方ハ狹シ又北氷洋及太西洋ノ海岸線ハ殆ト正直ニシテ大平洋ノ海岸ハ彎曲ス

圖ノ描ク法　北氷洋海岸　ポイント、バルローヨリ始メテ第一區分點ニ對セル所ニ馬更些ノ河口ヲ畫シ第二區分點ノ上ニ維多里蘭ヲ畫シ第三區分點ト第四區分點トノ間ニ哈得孫灣ノ口ヲ畫シオンカバ灣及ヒチドリー岬ハ第五區分點ニ近ク之ヲ畫ス又惹迷斯灣ノ西極ハ「波仁」線ノ中央ニ稍近ク觸ルヽナリ

太西洋海岸　查耳岬ト第一區分點トノ間ナル「呂仁」ノ線上ニ桑勞稜索灣ヲ畫キ次ニ此線ノ外ニテ第一區分點ニ對セル所ニ新蘇格蘭ノ半島ヲ畫キ第二區分點ノ北ニ格底岬ヲ畫キ第三區分點ノ上ニ非耳岬ヲ畫クヘシ○佛勒里達半島ノ西海岸ハ第四區分點ヲ横過シ墨西哥灣ノ口ハ第四區分點ト第五區分點トノ間ニアリテ其岸ハ「呂波」線ヲ其中央ニ近ク横過シ又其西海岸ハ「保呂」ノ線上ニアリ而レテ加多支岬ハ第五區分點ニ近ク又中部亞米利加ノ海岸并ニ巴那馬ノ地峽ハ「十二」點ヨリ「十七」點ニ至ル折線ニ傍ヒテ之ヲ追フナリ

大平洋海岸　ポイント、バルローヨリ始メテ「以利」線ノ外ニコツビュ、サウンド及ノルトン、サウンドヲ畫キ次ニブリストル灣ヲ此線ノ内ニ畫クヘシ○ノルトン、サウンドハ「以利」線ノ中央ニ近シ又亞臘斯加ノ南海岸ハ正シク「利知」線ト其方向ヲ同クス其餘ノ西海岸ノ部分ハ基罫ト唯僅ニ一二ノ方向ヲ異ニスル所アルノミ○加里福尼半島ハ殆ト「奴」ノ角點ニ近ツク迄延長シ又

加里福尼灣ノ東岸ハ「奴登」ノ線ノ中央ニ近ク横過ス

備考　窩如湖ハ「波」「仁」線ノ中央ト「波」黙トノ中間ニアリ又伊利湖ハ「波」「仁」線ノ中央ト「呂」「仁」線ノ中央トノ中間ニアリ

設問　基罫ノ製作法ヲ説クヘシ○ポイント、バルローヲ始メトシ北亞米理加沿海ノ隅角港灣ノ位置形勢等ヲ説カシムヘシ○山嶽脈系ノ蟠峙起伏スル方向及其高低ヲ説キ并ニ湖河ノ連絡位置ノ有様ヲモ語ラシムヘシ○

北氷洋ニ注入スル河ヲ始メトシ太西洋太平洋ニ入ル河道及支流ヲ語ラシムヘシ○政事上ノ區分ニ從フテ其邦國ノ境界ヲ説カシメ且都府ノ名稱ヲ呼ヒテ之ヲ記シ及其人口ヲモ記サシムベシ

南亞米利加ヲ畫スル法

基罫　第一　畫カント欲スル圖ニ應シテ適宜ノ長サナル「以呂」ノ垂線ヲ畫キテ均シク之ヲ四部ニ區分スヘシ而シテ其最上ノ區分點ノ「仁」ヨリ右方ヘ長首線ノ二分一ナル水平線ヲ畫キテ之

ヲ三部ニ平分シ次ニ北水平線ヲ其長ノ三分一左方ヘ接キ延スヘシ

第二　「波」ヨリ「登」「登」ヨリ「以」「以」ヨリ「邊」「邊」ヨリ「呂」ト逐次ニ直線ヲ引キ而シテ「登」「以」「以」「邊」及「邊」「呂」ノ線ヲ各々均シク三部ニ分ツベシ

概形　南亞米利加ハ北ニ廣ク南ニ狹クシテ其概形殆ド尖木ニ均シ又其海岸線ハ正直ニシテ唯僅カニ基罕ノ線ト背馳スル所アルノミ○此大洲ノ南ヨリシテ北ニ至ル長四千五百里ナリ」

符合點　巴拉危那半島ハ基罕ノ北ノ角點ヲ以テ定ムルヲ得又聖洛基岬ハ東ノ角點必耳拉岬ハ南ノ角點巴利那岬ハ西ノ角點ヲ以テ各其位置ヲ定ムルヲ得ヘシ○又巴那馬ノ地峽ハ區分點ノ「四」ニ對シ亞馬孫ノ河口ハ「六」ニ對シハリヲ岬ハ「七」ニ對シ拉巴拉他ノ河口ハ「八」ニ對ス

歐羅巴ノ畫方

基罕　製ラント欲スル圖ノ大ニ適フヘキ長ナル「以呂」ノ水平線ヲ畫キ次ニ「以」點及「呂」點ヲ中心トナシテ長首線ノ四分三ノ半徑線ヲ有スル二個ノ弧線ヲ互ニ「波」點ニ於テ横又スルヤウニ畫

キ次ニ「以」ト「波」ト及「呂」ト「波」トヲ連結スヘシ○斯クテ後「以呂」線ハ均シク八部ニ區分シ「以波」線ハ四部ニ平分シ「波呂」線ハ六部ニ平分スヘシ而シテ基罫ニ示セル如ク首線ノ「六」ノ區分點ト「以」ノ角點ヨリ長各「以呂」線ノ八分一ナル垂線ヲ畫シ次ニ「遷」點ヨリ「登」點ニ線ヲ畫キ此二點ヲ連結シ而シテ此線ヲ均シク二分ニ區分シ又右ノ一部ヲ更ニ四部ニ均分スベシ○又「十二」點ヨリ長「以呂」線ノ二部半ニ均シキ直角線ヲ畫キテ之ヲ均シク二部ニ區分シ而シテ「波保」及「仁呂」ヲ連結シ

次ニ又「九」點ヨリ「波呂」線ノ中央ノ方ヘ一線ヲ畫キテ之ヲ「波」ノ角點ヨリ畫キタル垂線ニ觸ル、ニ至ラシムヘシ

圖　圖ヲ畫カンニハ那威（ノルウエー）ノ海岸ノ「波」點ヨリ始メテ順次ニ北方ヨリ東及南ノ境界線ヲ畫キ而シテ又「波」點ヨリ始メテ西ノ境界線ヲ畫クベシ

白海（ホワイトシー）ハ大略「十二」點ヨリ畫ケル直角線内ニアリ而シテ其小半島ハ「保」點ニ於テ同線ヲ横過ス其他東北ノ海岸ハ總テ此線内ニアリ○烏臘爾山ノ南方ノ部分ハ「仁呂」線ヨリ離開スルコト首線

ノ一區分ノ三分二ニ均レク又烏臘爾河ハ此「仁」呂」線ヲ横過ス○裏海ハ「仁」呂」線ノ兩側ニアリテ且「波」呂」線ヲ「十五」點ニ於テ横過シ而シテ「以」呂」線ノ一區分ノ二分一ヨリ稍遠ク南ニ延長ス

黑海ハ「以」呂」線ノ「六」點ヨリ殆ト「七」點ニ近ク延長シ馬馬拉海ハ「登」ノ角點ニ近ク又希臘半島ハ「十七」點ト「十九」點トノ間ニアリテ「遊」登」線ノ南ニ延長スルコト此線ノ一區分ニ均シ○亞得亞海ノ海首ハ「以」呂」線ノ中央ヨリ西ヘ此線ノ一區分ヲ距レタル所ニアリ○伊太利ハ形長皆ニ似テ其

踵ハ「十七」ニ近ク又其趾ハ「十七」ト「十八」トノ間ヲ横過シテ「遊」登」線ノ南ニ延長スルコト恰モ希臘半島ノ南ニ延長スル距離ノ二分一ニ均シ○熱那灣及雷卑灣ハ「二」ノ分點ノ兩傍ニアリテ互ニ相對シ又西班牙ノ海岸ハ「四」點ノ南ノ一點ヲ以テ「遊」登」線ニ近接ス

那威ノ海岸ハ「以」波」線ニ追從シ而シテ「十」點ヨリ南ニ延長スルコト首線ノ一區分ニ均シ○波的尼灣波羅的灣北海北海ノ南海岸及佗佛爾ノ海峽ハ「九」點ヨリ「知」點ニ至ル線ト「知」點ヨリ「波」點ニ

至ル線トヲ以テ其位置ヲ定ムルヲ得ヘシ○比斯加灣ノ頭ハ「以呂」線ノ「四」ニ近ク又阿尼牙湖ハ「波呂」ノ線上ニテ「十三」點ニ近シ

設問　基罫ノ製作方ヲ說クヘシ○裏海ヨリ始メテ順次ニ歐羅巴大洲ヲ包括セル海洋等ノ名ヲ語ルベシ○最大ナルモノヲ始トシ大小ノ順序ニ從テ政事上ノ區分ノ名ヲ語ルヘシ○各首府ノ人口ヲ語ルヘシ○最大ナル十個ノ都府ノ名ヲ語ルヘシ○山脈ヲ解說スヘシ○烏臘河ヲ始トシテ順次ニ裏海黑海及地中海ニ入ル所ノ河ヲ悉皆舉クヘシ○大西洋及北氷洋ニ入ル所ノ河ヲ說クヘシ

佛蘭西ヲ畫ク法

基罫　適宜ナル長ヲ度リテ「以呂」ノ水平線ヲ畫キ之ヲ均シク四部ニ分ツヘシ次ニ此線ヲ二分スルトコロノ「波」點ヨリ長首線ノ全長ト其四分一倍ナル垂線ヲ畫キ而シテ「以仁」及「仁呂」ノ諸點ヲ連結シ且此諸點ヲ連結シタル二線ヲ各均シク二部ニ分ツヘシ○又「保」點ヨリ長首線ノ四分一ニ均シキ「保登」ノ直角線ヲ引キ而シテ「仁登」及

「登呂」ノ諸點ヲ連接レ次ニ又「邊」ヨリ「以呂」線ノ二分一ナル「邊知」ノ直角線ヲ畫キ「邊仁」線ハ「利」點ニ於テ均レク之ヲ二分レ「邊以」モ亦「奴」點ニ於テ之ヲ二分ス而レテ「仁知」及「知奴」ノ諸點ヲ連接レ「仁知」ヲ二部ニ平分レ「登呂」ヲ三部ニ平分スヘシ

必里尼斯山ノ東邊ハ「波」ノ南ニテ「保」「登」線ノ距離ノ凡ソ三分ノ二ノ所ニアリ○又塞納河ハ四部ニ區分セル「以仁」線ノ上ノ部ヲ横過レ羅亞爾河ハ此線ノ中央ヲ横過レ又多爾多尼亞ト伽倫ノ二流合レテ成ル所ノ日倫河ハ下ノ區分點ヲ横過

スト但レ精密ニ此基罫ヲ畫スルトキハ「登呂」線ハ必ス垂直ナルヲ見ルヘシ

不列顛諸島ノ畫方

適宜ノ長ナル「以呂」ノ首線ヲ畫キテ其中央ヨリ長「以呂」ニ均レキ垂線ヲ畫キ而レテ「以仁」及「仁呂」ノ諸點ヲ連接レ次ニ「以仁」及「波仁」ノ二線ヲ各均レク四部ニ分ケ「仁呂」線ヲ三部ニ平分ス○又「以波」ノ間ヲ六部ニ平分レ而レテ「保」ヨリ長殆ト首線ノ四分一ナル「保邊」線ヲ畫キ次ニ又長「保邊」ノ二分一ナル「呂登」線ヲ畫キ而レテ「邊」ト「登」トヲ連

續スベシ

北ノ角點ハ拉斯岬ノ位置ヲ示シ東ノ角點ハ達迷斯河口ノ位置ヲ示シ東南ノ角點ハ佗佛爾海峽ノ一點ヲ示シ南ノ角點ハランドスインドノ位置ヲ示シ西ノ角點ハドルセーヘッドノ位置ヲ示ス

「三」ノ區分點ニ近ク加爾威灣アリ「一」點ニ愛倫ノ北邊アリ「七」點ニホルスノ河口灣アリ「五」點ニ近クロックリンヘノ曲江アリ又「四」點ト「六」點トノ間ニ愛倫海アリ○又拉斯岬ト慕來河口灣トノ間ニ突出シ慕來河口灣ト泰河口灣トノ間ニ突出シ及ビ加爾威灣ト德内加爾灣トノ間ニ突出スル地ハ何レモ皆基罫ノ兩側ノ線外ニ離開スルコト凡ソ首線ノ八分一ニ均シ

亞弗利加ヲ畫ク法

基罫　第一　第一圖ニ示セル如ク均シク六部ニ分チタル象限ニ依リテ今製クント欲スル圖ニ適フヘキ長ノ首線ヲ畫クヘシ

第二　此首線ヲ「廿」點ニ於テ二部ニ平分シ次ニ其上ナル一部ヲ「一」點ニ於テ均シク二部ニ分ク

而シテ又其上ナル區分ヲ更ニ「ニ」點ニ於テ均シク二部ニ分ツヘシ

第三　「以」及「呂」ヲ中心トナシテ二個ノ弧線ヲ「仁」點ニ於テ互ニ交叉スルヤウ畫クヘシ但「以」ヨリ「仁」ニ至ル距離ト「呂」ヨリ「仁」ニ至ル距離トヲシテ各々首線ノ四分三ニ均シカラシムベシ而シテ「以仁」及「呂仁」ノ線ヲ畫ク○「以保」及「波保」ノ線モ前ト同法ヲ以テ之ヲ畫ク但シ此線ハ何レモ「以波」線ノ四分三ニ均シカルヘシ

第四　「以仁」線ノ均シク二部ニ分ケ而シテ首線

上ノ「以」ヨリ「ニ」點ニ至ル距離ト均シキ「邊知」ノ直角線ヲ畫キ次ニ「邊仁」線ヲ均シク二部ニ區分シ「以知」及「知登」ノ二線ヲ畫キ而シテ「以知」「呂波」及「波保」ノ諸線ヲ各〻均シク三部ニ分ツヘシ

概形　亞弗利加ノ概形ハ南北亞米利加ノ如ク北ニ廣ク南ニ狹ク其海岸線ハ正直ニシテ南亞米利加ニ似タリ又此大洲ハ南亞米利加ノ如ク赤道ノ兩傍ニ位ス

符合點　斯巴的岬ノ位置ハ基罕ノ北ノ角點ヲ以テ之ヲ定ムルヲ得又蘇士ノ地峽ハ東北ノ角

點加爾達夫岬ハ東方ノ角點亞古列岬ハ南ノ角點及羅基安岬ハ西方ノ角點ヲ以テ皆其位置ヲ定ムルヲ得ヘシ

政事上ノ區分　亞弗利加ノ政事上ノ區分ハ明白ニ其數ヲ定ムル能ハス但シ其最モ緊要ナル區分ハ摩洛哥阿爾及突尼斯的波里埃及努皮亞亞比西尼秦給巴莫三鼻給寅朴哥羅尼幾内亞里卑利亞塞内岡比蘇哈拉及蘇丹是ナリ

外邊ノ圖　斯巴的岬ヨリ北及東ノ海岸ヲ畫キ次ニ又此岬ヨリ始テ西ノ海岸ヲ畫クヘシ

斯巴的岬ヨリ崩岬ニ至ル海岸ハ「以知」線ノ外ニ突出シ而シテ又「以知」線ノ横過シ「八」點ニ對シテ西多羅灣ヲ作ル○紅海ノ西海岸ハ基罫ノ線ヲ追ヒ登點ニ至リ夫ヨリ線内ニ彎曲ス又此大洲ノ東海岸ハ始線外ニ彎曲シテ「九」點ニ達シ次ニ又線外ニ彎曲シテ亞古列岬ニ達ス而シテ此亞古列岬ヨリロベース岬ニ至ルマデハ近ク基罫ノ線ヲ追ヒ又線内ニ彎曲シテ幾内亞灣ヲ作リ次ニ「五」點ニ近ク基罫ノ線ヲ横過シ而シテ又線外ニ彎曲シテ羅基安岬ニ達ス

地理描圖法終